

高槻市バリアフリー基本構想（素案）に対する意見募集の実施結果

1 実施概要

- (1) 募集期間 令和3年12月20日（月）から令和4年1月19日（水）まで
- (2) 募集方法 持参、郵送、ファックス、市ホームページの簡易電子申込
- (3) 閲覧場所 市ホームページ、都市づくり推進課、行政資料コーナー、各支所、各公民館、各コミュニティセンター

2 実施結果

- (1) 意見数 5件
- (2) 提出者（団体）数 個人 2人、団体 0件
- (3) 意見内容

項目	件数
I 計画策定について	1件
II 移動等円滑化促進方針	3件
III 移動等円滑化基本構想	1件
IV 計画の推進	0件
V 参考資料	0件

3 提出意見に対する市の考え方

No.	章	頁	意見項目	意見要旨	市の考え方	対応結果
1	I	1	アンケート調査	<p>ネットや紙面でのアンケートでは本当に困っている人の、声なき声を拾うことができません。</p> <p>コロナ発生前は毎年、高槻市の各障がい者団体の方々が、市の福祉センター(ゆうあいセンター)を出発点としてウォークラリー・街かど点検をしていました。聴覚障がいの方、視覚障がいの方、車イスの方々が歩きながら高槻の街の不便さを共有するイベントです。長年の記録やハンディのある方の声の蓄積があります。ネットや紙面で答えることのできた736人の声も大切ですが、これではネットや紙面に書けない、読めない人の声が拾えないと思います。アンケートに答えないと市に取り上げてもらえない、アンケートがバリアになっています。</p> <p>市内にある各障がい者、難病の団体の方、高槻で生活する外国の方、介護・障がい者への福祉事務所、学校、保育園などへの聞きとりはされないのでしょうか。高槻の街をより良くできるヒントをもらえるとと思っています。</p> <p>当事者や地域との協働したバリアフリーな高槻市を目指して頂けると幸いです。</p>	<p>コロナ禍でウォークラリーや街かど点検の実施が困難な状況ではありましたが、アンケート調査では、一般回答に加え、障がい者団体や高齢者及び子育て施設等でも聞き取りを行っており、様々な当事者から意見を頂けるよう取り組みました。</p> <p>また、計画策定にあたっては、障がい者、高齢者等を含む当事者が参画する高槻市バリアフリー推進協議会においてご意見をいただきながら取り組んでおります。</p> <p>ご意見のとおり、本市では、当事者をはじめとした関係者と協働したバリアフリー化が重要と考えており、計画策定後も高槻市バリアフリー推進協議会等においてご意見をいただきながらスパイラルアップを図ってまいります。</p>	原案どおり
2	II	33	基本方針	<p>第2次高槻市環境基本計画(R4年3月改訂版)(素案)にも、R3年4月の高槻市地域福祉計画にも国連で設定されたSDGsの表が掲載されています。本市の本計画でもこれらの17の目標全てを基本方針と考えることを望みます。</p> <p>高槻市のバリアフリーは民も公も、本市の担当課も越えて構想し取り組んで欲しいです。</p>	<p>本計画では、SDGsが掲げる「誰ひとり取り残さない」社会を実現するため、「誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインを基本としたまちづくりの推進」を基本方針の一つとして設定しております。</p> <p>また、ご意見のとおり、本市では官民が協働したバリアフリー化が重要と考えており、当事者や交通事業者をはじめとした関係者が参画する高槻市バリアフリー推進協議会においてご意見をいただきながら取り組んでおります。</p>	原案どおり

3	II	35	移動等円滑化の促進に関する取組	<p>車イスの自走者、歩行器の利用できるスロープの角度を考えて道作りをお願いします。</p> <p>ゆるい傾斜のスロープは一見バリアフリーに見えます。でも、例えばJR高槻駅南口から松阪屋への歩道橋の移動は車イスを自分一人で乗って移動するのにとても困難です。エレベーターで降りて、大まわりして横断歩道を選ぶか、もう外出をあきらめるのか。長いスロープも1つのバリアになります。</p> <p>歩行器でも車イスでも本人一人で移動できる街の道を作ってほしいです。「介助者がいる」ことを前提とした街作りでは街に出にくくなっています。</p>	<p>本市の道路や歩道橋については、道路移動等円滑化基準に基づいた整備を行っているものの、基本理念に掲げる「人にやさしいまち、人がやさしいまち」の実現に向け、ハード面の取組のさらなる推進とともに、ソフト面も一体として取り組むなど、引き続き本計画に基づきバリアフリー化を推進してまいります。</p>	原案どおり
4	II	34、38、115	バリアフリーマップ	<p>現在、高槻市が作成しているバリアフリーマップは古く、かつ高槻駅の周辺にだけに片寄っています。</p> <p>富田や郡家、上牧などの人口の多い辺りのバリアフリーマップも必要です。大きなショッピングセンター周辺の生活関連施設には高齢者、障がい者、子供連れの方々も行くことが多く、介護予防の社会参加促進の観点からもバリアフリーマップの作成と配布が必要と考えます。</p> <p>芝生や安満は高槻市の防災拠点になっています。災害時の避難所までの道がバリアフリーになっていないか、の視点からも市としてバリアフリーマップを作成して頂ければと思います。</p> <p>また、バリアフリーマップの配布についても、「残数が少ないから」ともらえない事がありました。市民、必要とする誰もが手軽にもらえるシステムも作って下さい。日本語を母語としない方や、見えない方、理解力が低下している方々にもわかり易いものを希望してやみません。</p>	<p>バリアフリーマップについては、最新版としてウェブ版を毎年更新していますが、高槻駅周辺以外のエリアのマップ作成や情報提供の方法については、今後本計画の取組の中で検討してまいります。</p>	原案どおり

5	Ⅲ	83	<p>阪急高槻市駅北バス停のバリアフリー化</p>	<p>「済」となっていますが、済んでいません。阪急高槻市駅前北口 5 番バス停には近傍に煙ダダ漏れの喫煙所があるため、バス待ち列へとタバコ煙が流れてきてバス停を利用できない方がいます。そういう方は止むなくタクシーを利用しています。</p> <p>これはタバコ煙を社会的障壁とする障がい者への差別に当たります。バス停を移設させるなどして、この社会的障壁を除去して差し上げて下さい。これは必要なバス停のバリアフリー化です。</p>	<p>阪急高槻駅北駅前広場のバス停のバリアフリー化については、道路移動等円滑化基準に基づいた整備を行っていることから整備「済」と記載しておりますが、引き続き基本理念に掲げる「人にやさしいまち、人がやさしいまち」となるよう努めてまいります。</p>	<p>原案どおり</p>
---	---	----	---------------------------	---	---	--------------